

はじめに

1992年から、圧力を利用した技術で研究用の計測機器を開発・製品販売を行い、産官学の研究機関に納入(納入先をhpで公開)してまいりましたが、これまでの技術を応用することにより、無公害エネルギーとして利用できるのではないかと思ひ技術を公開して、ご意見・ご批判を頂ければと思ひ提示させて頂きました。

本来であれば、綿密な計算のうえ設計を行い試作し検証を行ったうえで、実用具体案での提案とすべきことですが、計測機器関連の弊社にとって未知な分野であり、規模、技術部門などが違いすぎるために方法論として提案させて頂くことをご理解のほどお願い申し上げます。

**<技術>** 2ページ以降に図解

エネルギーの発生・生産方法として、河川や下水(ビル・工場含む)など水の流れを動力源にして、高圧(正圧)もしくは、吸引圧(陰圧)の圧力を生産し、工場や家庭に分配して圧力駆動装置(装置開発要す)などでエネルギーとして利用する。その圧力源は大気の空気を取込んだり、その空気を大気に排出して行う方法である。

それら空気は加熱などされない状態で放出される。…CO2ゼロ

**<特徴>**

**1、エネルギー発生動力源は水や排水などの流体で、利用圧力源は大気の空気である。**

…圧力はタンクなどに貯圧も可能で、エネルギーを貯めることができる。  
したがって、資源の焼却・消費などはありません。

**2、エネルギー利用後の排出は、熱変化が無い状態の空気である。**

…したがって、CO2排出はゼロ。

**3、装置の規模は、小型でも可能。**

…したがって水源は、小川、排水路などでも可能である。

**4、新産業の活性・創業化。**

…圧力を利用した家電に変わる製品、動力装置などの開発・製品化。

特に多くのCO2を発生させる大型装置や動力関連装置を、この圧力エネルギーによる駆動装置に換えることが優先。

**5、ライフラインや工場内ライン化など…。**

…町内・工場内などの小規模分割による自給自足化。

**6、世界的な観点から、発展途上国などが発展に伴い先進国レベルにCO2発生を想定した場合、それまでに代替エネルギーとして。**

…河川や下水利用で、ほとんどの地域で生産できるエネルギーである。  
資源の有る無しに関わらず、公害に繋がる不純物の排出はない。

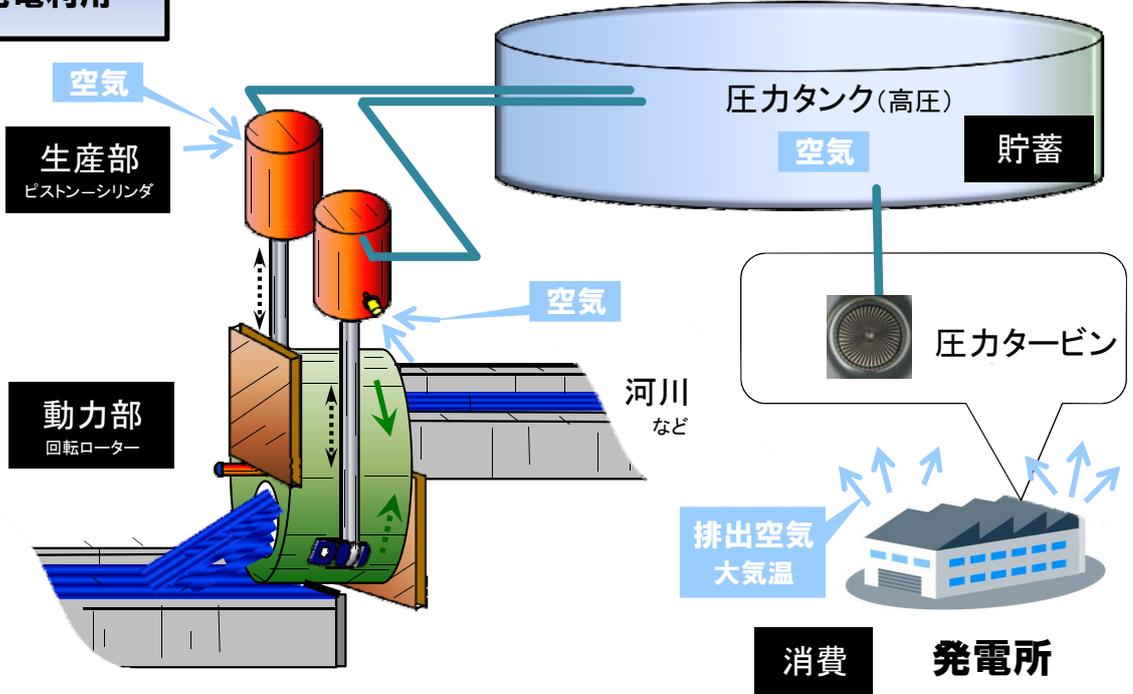
<分野> 現在、主に資源(石油・ガス)を燃焼して高圧ガス(蒸気)をつくり、(発電)タービンを回す動力エネルギーとして利用されている。

特許出願番号：特願2011-131622

河川やビル排水の水の重さと流れを利用して、ローターの回転または反復運動を得て動力源にし、ピストンとシリンダで(空気)圧力を生産するエネルギーである。その圧力で直接(発電)タービンや動力装置(開発)に利用することで、『CO<sub>2</sub>-資源の消費がゼロ』のエネルギーとなる。吸引圧(負圧)も生産でき、エネルギーの貯蓄も可能である。生産効率は低いが比較的簡単な構造で小型化でき、装置の連結でパワーアップできる。安心なクリーンエネルギーとして先々へ繋がる方法と期待できる。

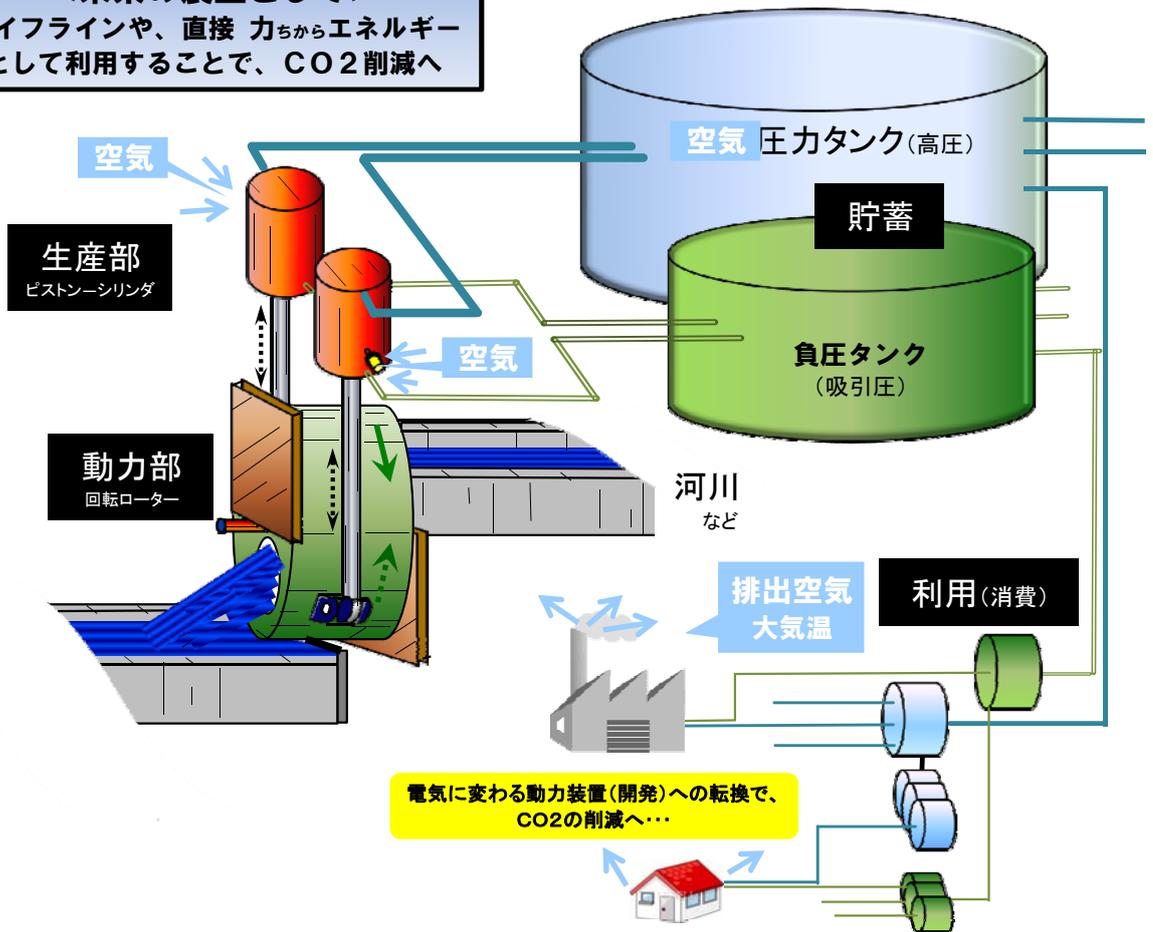
**発電利用**

多数の圧力タンクと配管・弁コントロールで圧力の蓄積も...



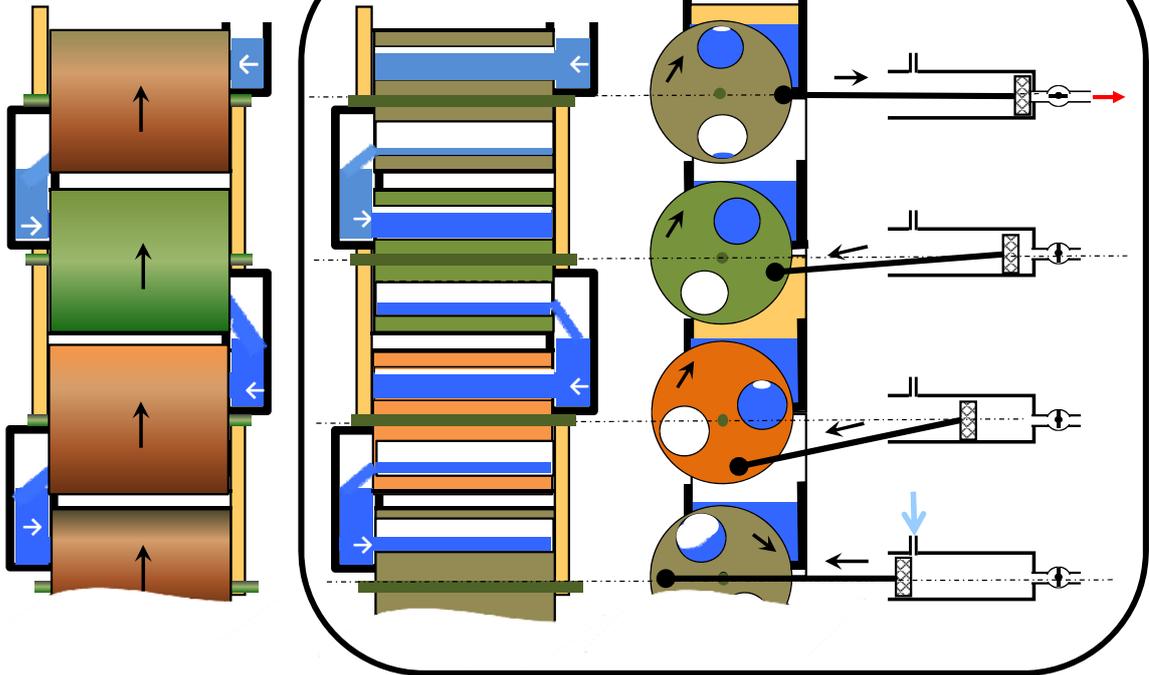
**<未来の展望として>**  
ライフラインや、直接力からエネルギーとして利用することで、CO<sub>2</sub>削減へ

加圧と負圧の同じ利用で効率よい動力装置(開発)も...



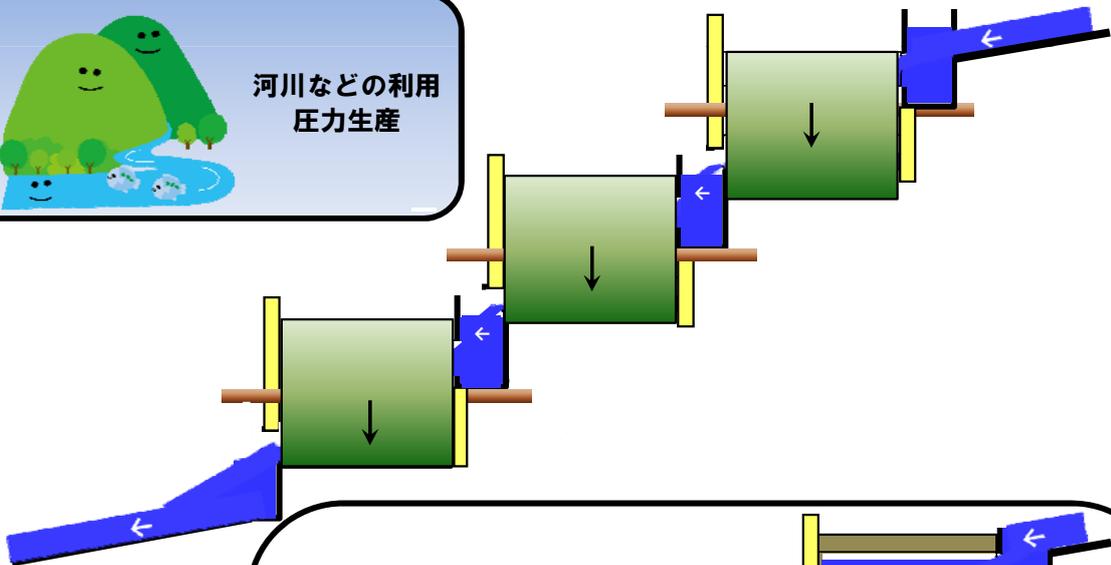
ビルの排水を利用し、  
小型装置を連結し、  
効率良くパワーアップ

ビルの排水の流れの利用で空気圧を生産!!

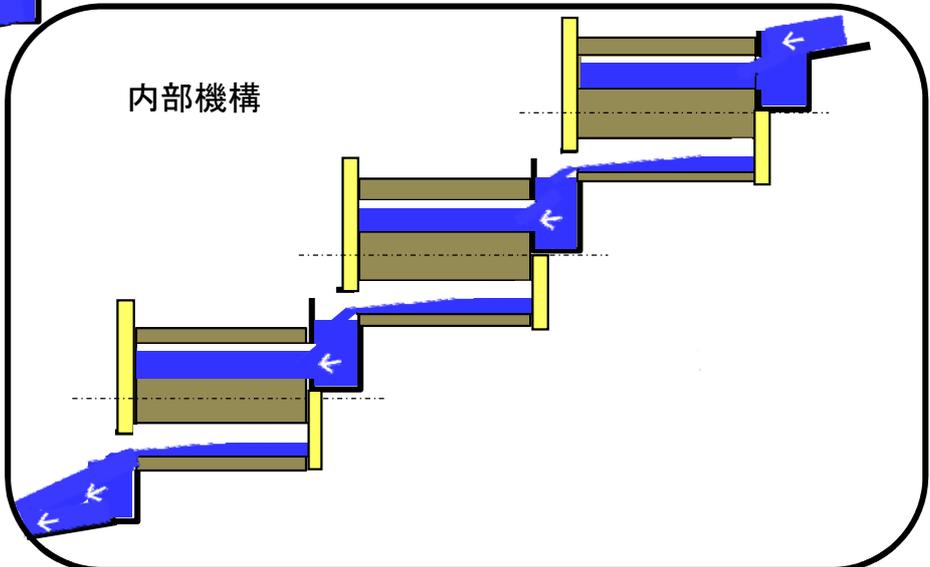


河川の流りに沿って装置を連結し、小型でもパワーアップ!!

河川などの利用  
圧力生産



内部機構



# 機構図

高圧（正圧）→ 吸引圧（負）→

